

練馬区長賞

『地方と税金の使い方』

練馬区立石神井西中学校

三学年

加茂

磨理佳

せっかくの機会だからあまり聞いたことのない税金の用途について調べてみようと思う。国の歳出の内訳のグラフを見ると、具体的な使い道が想像できるものが多かった。そんな中でも地方への交付金という項目はあまり想像がつかず、興味を持った。

調べてみると、農山漁村振興交付金というものが目に留まった。農林水産業の衰退による地域の活力の低下、過疎化の進行などといった、地方の問題を国の税金を使って解決を図るといふものだ。都道府県、市区町村がしっかりと計画を立て、それを農林水産省が審査し、予算が割り当てられるという仕組みだそう。

具体的な取り組みを調べると、宮城県七ヶ宿町のが見つかった。廃校となった小学校を宿泊施設として整備するという内容で、交流を通じて最終的には農業の担い手の確保という狙いもあるようだった。実際に交流人口は、二七一人増加したそう。人の動き

はお金の動きだ。このような効果の分かりやすい計画がいくつも行われていた。私の知らないところで地方の活性化が図られていたのだなと思った。

あるドラマで、土地について、大事にしてきたものは大事なんだ。災害で危険だからといってそこから出て行けというのは部外者の暴力だ。と話すシーンがあった。この言葉はとても印象的で記憶に残っていた。

一方で、インターネットでは、田舎は効率が悪く、過疎状態の集落は守ってもしようがない。そこに税金を使うのはもったいない。ブランドのついた価値のあるものだけを守り、他は切り捨てよう。と、私見を述べているサイトもあった。もちろん国からの交付金頼りで何の努力もしないのは良くないことだと思うけれど、大事にしてきた土地を奪うという過激な考え方には違和感を覚えた。

食料自給率は、世界の出来事の影響をなるべく少なくするために、高い方がいいだろう。

日本の農業を支えているのは地方だ。その地方がダメになってしまっ前に補助をするのはとても良いことだと思った。守るだけでなく自立できるようにするのが大切だと思う。

「地方交付税」を調べると、問題点を挙げるサイトが多く出てきた。格差是正の行き過ぎによる不公平や仕組みの歪みが挙げられていた。税金の使い道を決めるのは大変難しい。国民の大切な税金だから無駄遣いは避けたい。でも、その「無駄」を削減しようとした結果、考え方は様々だろうが、ワクチン事業への補助が足りず、日本のワクチンの開発が遅れたということもある。このように「無駄」に見えることも未来への投資ということもあるかもしれない。もちろん本当の無駄は省くべきだし、見極めはとても難しい。そこで、他人事と思ったり、ただ代案の無い文句を言ったりするばかりでなく自分事として考え、注目していくのが大切なのではないかと思う。